



海の見える学校

令和5年7月19日
文責 校長 福田 一毅
第6号

学校教育目標 「夢や願い」を叶える福田小学校

改めて、クロムブックの活用のきまり

- ◇ 明後日から夏休みです。クロムブックでの学習も行うことになります。夏休みを前にクロムブックの使い方を再確認します。一人一台の端末は、長崎市から児童一人一人に貸与されているものです。学習用に貸与されていますので、他の目的での使用は行わないこととなっています。学習以外の使い方をしたり、学習に関係のないサイトを閲覧したりしている様子が見られました。いろいろな事件に巻き込まれることも考えられることから、使用については学習に限ることにします。そこで、児童用のプリント「福田小 6つの約束」を作成いたしました。学年に応じ、学級でも説明しますが、ご家庭でも家族で使い方をご確認ください。

AIドリル「Qubena」で効果的な学習を

- ◇ 自分の力に合った学習ができるのが、AIドリルです。間違ったら自動で判断してフィードバックしてその子に最適な課題を提示してくれます。昨年度までAIドリルは「eライブラリ」を使用していましたが、本年度は「Qubena（キュビナ）」を使用しています。Qubenaは今年度に限り、無料で利用できます。次年度からは、eライブラリと同じような形で導入予定（有料）です。

学年の先生から、「これだけは」という問題をワークブックとして配信されていたり、自分で、1学期や前学年で学習したことをもとに課題を探して取り組んだりできます。そして、保護者は、お子さんの学習履歴を確認することもできます。

Qubenaの学習メニュー ログインすると下図のホーム画面が表示されます。

ホーム
学習したい教科、学年、単元を選んで搭載問題を解くことができます。

ワークブック
先生より配信されるワークブック(問題集)を解くことができます。

5分間復習
AIの自動出題により、教科ごとに1回あたり最大5分間でスピード復習ができます。

学習履歴

Point 学習状況を簡単に確認できます

- 教科ごとに、学習時間・問題数・正答率、日・週・月単位で確認できます。
- 「不正解のみ」で間違えた問題のみを表示することが可能です。問題を選択すると、該当の問題を解き直すことができます。解き直しをした問題には「復習済」マークがつかます。

- ◇ この学習履歴を確認することで、正答率は何%か、全体の問題を解くのにかった時間、個々の問題にかかった時間、どんな問題を間違ったのかがすぐにわかります。また、間違った問題を復習したのかということもわかります。その日学習した内容、週あたり、月あたりで学習した内容も確認することができます。
- 子どもたちの学習の流れは、

○問題を解く⇒正答した場合⇒②解説
⇒誤答の場合⇒②「？」が出て再考を促す⇒③再度、解き直す
⇒正答の場合⇒④解説
⇒誤答の場合⇒④解説

を繰り返すこととなります。「間違っている」のに、短時間で終了している場合は、わかるまで学び直しをせずに、ただ消化しているだけということもわかります。

その場合は、一声かけてやり直しを勧めてください。

生成 AI

ChatGPT に代表される生成 AI の話題がクローズアップされています。最近出された文科省からの通知では、次のとおりとなっています。

<生成 AI 活用の適否に関する暫定的な考え方>

- 子どもの発達の段階や実態を踏まえ、年齢制限・保護者同意等の利用規約
chatGPT…13 歳以上、18 歳未満は保護者同意が必要
Bing Chat…成年、未成年は保護者同意が必要
Bard…18 歳以上

の遵守を前提に、教育活動や学習評価の目的を達成する上で、生成 AI の利用が効果的か否かで判断することを基本とする（特に小学校段階の児童に利用させることには慎重な対応を取る必要がある）。

- ◇ 保護者のみなさんの中にはすでに生成 AI を仕事で活用したり、興味があって使用したりしている方もいらっしゃるかもしれません。しかし、真偽構わず広くインターネット上から学習したり、質問内容からも学習したりする生成 AI は、回答に誤りや個人情報等を含む可能性が常にあり、時には、事実と全く異なる内容や、文脈と無関係な内容などが出力されることもあるため、使用者自身の「批判的な思考力」「正確な知識」に基づいて判断すべき**発展途上段階**であると思われます。現在さまざまなことを「学んでいる最中」の子どもたちが直接もしくは間接的に使用するのは、**判断の難しさ**や**自分で考えようという創造性、学習意欲への影響**が大きいと考えられます。

よって、現段階では、夏休みの宿題・読書感想文などへの生成 AI の活用に関しては小学校段階では不適切と考えています。たとえ保護者の同意や監督があったとしても生成 AI を使った課題解決への取組は控えていただきますようお願いいたします。